

# 2020 年 度 事 業 計 画

## 1 財団運営

コンベンション振興及び米子コンベンションセンターの管理運営を柱に、地域との連携、ネットワークの構築を強化し、地域のニーズに呼応した頼られる組織を目指し、柔軟かつ効率的な財団運営と基盤となる人材の育成に努める。

### (1) 人材育成・組織体制の強化

- ① 人材の高度化を図るため、職位・職責にあった人材育成プログラムの実施
- ② キャリア形成のための外部研修への参加及び資格・技能取得の推奨
- ③ 米子コンベンションセンターのより効率的な業務運営のため、「課」を廃止し、技術職、事務職の垣根のない組織体制を導入

### (2) 財源の確保

#### ① 資金運用計画

基本財産の運用については、資金運用規程に則し、基本財産運用計画(別紙2)により、安全性・確実性を考慮した運用を行う。(2020年度運用変更点なし)

### (3) 職場環境の適正化

- ① 男女共同参画の推進(鳥取県男女共同参画推進企業認定を受けてのより良い職場環境づくり)
- ② 職員の能力を最大限に発揮し成果をあげるため、各人がいきいきと働ける職場風土づくり、ワーク・ライフ・バランスの実現のための各種休暇制度等、労働環境の整備。

### (4) CSR経営の推進

- ① 環境への貢献(TEASⅡ[鳥取県版環境管理システム])の運用による環境に配慮した財団運営、グリーンコンベンションの推進、環境美化活動への積極的な取り組み)
- ② 公益法人としてのコンプライアンスの徹底(コンプライアンス行動基準の整備、周知、実践)
- ③ 人権の尊重・保護の啓発(人権教育の実施、啓発の推進)

## 2 コンベンション誘致事業

### ○ コンベンション開催による経済波及効果の拡大

コンベンション開催による地域への経済波及効果をより高めるため、宿泊、交通、観光、飲食、物品販売等コンベンション関連業界との連携を更に強化するとともに、コンベンション参加者へのアフターコンベンション情報提供を充実させ、滞在日数や周遊エリア拡大を図る。

### ○ 社会情勢や交通等インフラの状況に応じた誘致活動の展開

昨年度より県内コンベンション施設等の大規模改修が続く中、各施設と連携し主催者への影響が最小限となるよう調整を図っていく。また、新名神高速、鳥取西道路の開通等アクセスの向上により、関西以東からの合宿や企業インセンティブツアーも視野にいった取り組みを強化するとともに、MICE(海外インセンティブ)については、従来重点に置いてきた韓国からの落ち込みが大きい中、国際定期便の状況や、岡山、広島空港等近隣の路線状況を踏まえながら、引き続き重点とする台湾の他、新たに定期便就航する上海や東南アジアもターゲットにニーズの把握と受入れルートの拡大を図る。

### ○ データベースを活用した効率的な誘致セールスと地域特性にあった企画提案力の強化

現在保有するコンベンションデータベース(情報量・機能等)をさらに充実させることにより、ターゲットを細分化し優先順位を明確にすることで、誘致交渉件数の拡大を図る。また、鳥取県の魅力(自然・食等)PRに一層注力し、鳥取県ならではの受け入れメニューの提案や懇親会場の収容数不足等、ハード面で受入れが難しいとされる案件についても、既存施設を活用した企画の見直し等、地域関係機関と連携し対応策を検討していく。

|                                |
|--------------------------------|
| <b>2020年度目標：コンベンション誘客8.3万人</b> |
|--------------------------------|

## (1) 誘致推進事業 (7,995千円)

### ① 誘致推進

#### (ア) 学術会議・一般大会(国際会議含む)

県内外の事務局に対してきめ細かい誘致活動及びキーパーソンの招請等により、県内開催を促す。

#### (イ) スポーツ大会

県内外の関係団体と連携を図りながら、特に経済波及効果の高い生涯スポーツ大会(シニア、レディース等)を重点に誘致推進する。

#### (ウ) 企業コンベンション・インセンティブツアー

- ・商談会等参加や他ビューローからの情報収集により、新たなターゲットを構築し、窓口となる旅行代理店及び企業へ支援内容も含め鳥取県らしい提案を行う。特に、インセンティブツアーについては、鳥取県観光連盟と連携し効率的にセールスを行う。
- ・県内の温泉旅館等、受け入れ施設と連携を強化し、助成制度の有効な活用を図る。

#### (エ) MICE(海外インセンティブツアー・教育旅行)

- ・韓国定期便等の状況を踏まえ、引き続き台湾を重点とし、またその他東南アジアについても、JNTO等の海外インセンティブ商談会への出展や現地旅行会社訪問により、プロモーションの実施

と受け入れルートの拡大を図る。

・海外教育旅行については、鳥取県及び山陰インバウンド機構と連携し、主に韓国・台湾の現地旅行会社に対し、支援制度をPRし誘客を図る。

(オ) 合宿

従来の関西圏・中四国を中心とした旅行代理店・大学生協等に加え、アクセスが向上した中部・東海地方についても情報発信を行っていく。

② 県人会、同窓会等を通じた情報収集及び人脈づくり

③ コンベンション開催意向調査

県内主催者を対象に、コンベンションの開催意向及び関係諸団体の全国大会等の開催状況についてアンケート調査を実施し、誘致・支援に活用する。

調 査 先： 県内大学・高専、県内事務局、会議施設、行政機関等

調査時期： 7月頃

調査件数： 約1,200団体

④ 各種協議会への参加

(ア)「JCCB(日本コンgres・コンベンション・ビューロー)」 総会【6月：東京】

CB 部会【7月：上越市】

CB 部会【12月：高崎市】

(イ)「中国・四国地区コンベンション推進協議会」 総会【7月：高松市】

(ウ)4都市(鳥取、浜松、長野、福井)コンベンションビューロー連携会議 【12月】

⑤ 各種商談会への出展

(ア)「日本政府観光局(JNTO)」インセンティブ旅行セミナー【8月：台中・台北】

インセンティブ旅行セミナー【未定】

(イ)中国・四国地区コンベンション誘致懇談会【12月：東京】

(ウ)国際MICEエキスポ(IME2021)【2月：東京】

(2) 開催支援事業 (8,938千円) (開催助成金：45,000千円)

県内開催コンベンションの円滑な運営を支援するため、主催者への財政的・物的等支援を行い、また、参加者に対し、おもてなしを通して鳥取県の魅力をPRする。

① 財政的支援：助成金交付

② 物的支援：歓迎看板、コンベンションバック、地元特産品、観光パンフレットの提供等

③ その他の支援

(ア)会場手配、業務応援、コンベンション会場に観光案内・県内特産物の販売所の設置

鳥取県観光連盟・地元観光協会・鳥取県食のみやこ推進課等と連携し、観光情報の提供・県内特産物の販売を通じて県外参加者に鳥取県の魅力をPRする。

(イ)大会ホームページに開催地域の観光・イベント等情報集約サイトのバナー添付を推進し、事前に開催地の最新情報を提供することにより、参加者のアフターコンベンションを促す。

(ウ)コンベンション事務局運営支援

「コンベンション開催マニュアル」や「コンベンションおもてなしメニュー」を活用し、事務局運営や組み立て方をアドバイス・支援する。

### (3) 調査企画事業 (3, 959千円)

#### ① コンベンション参加者アンケート調査 (1, 068千円)

コンベンション参加者を対象に、意見・感想や大会期間中の行動パターン、必要経費等についてアンケート調査を実施し、経済波及効果の推計及びおもてなし度向上の取り組みに役立つよう、結果を広く周知する。また、WEB 化により回答率の向上と集計の省力化を図る。

調 査 先： 30件 約19, 000人 (別途 Web アンケートのみ6件 約2, 000人)

調査時期： 通年

調査結果： 来年5月頃 理事会、機関紙、マスコミなどで発表

#### ② 経済的波及効果の推計調査

調査時期： 通年

調査結果： 来年5月頃 理事会、機関紙、マスコミなどで発表

#### ③ 「アジア・ウォーキング・フェスタ フォーラム」の開催(共催事業) (2, 300千円)

「ウォーキングと観光・インバウンド」をテーマに国内外関係者によるパネルディスカッションを開催し、アウトドアツーリズムによる地域活性の機運醸成を図るとともに、アジア・トレイルズ・ネットワーク所属団体等を招請し、県内各地でのウォーキング大会やコースのPRの場を提供する。

※SUN-IN 未来ウォーク第20回記念大会(主催:同実行委員会、NPO 法人未来)と併催。

開 催 日： 6月5日(金)～6日(土)

場 所： 倉吉未来中心

#### ④ コンベンション事業説明会・交流会 in 中部の開催 (591千円)

県内の主催者と賛助会員を中心としたコンベンション関連事業者及び観光関係者を対象とし、コンベンション誘致事業及び受け入れ状況を説明するとともに、主催者と関係事業者との交流の場として、相互情報交換の機会を創出する。

内 容： 事業説明・交流会

対 象： 県内コンベンション主催者(各種団体事務局、大学教授等)、コンベンション関連事業者

開 催 月： 3月頃

開 催 地： 倉吉市

### (4) 広報宣伝事業 (2, 299千円)

#### ① ホームページ等による情報発信 (351千円)

・コンベンションの開催情報や開催支援制度、また県内のコンベンション施設、宿泊、飲食、観光などの情報を主催者及び関係諸機関に的確かつタイムリーに提供する。

・観光・イベント等情報集約サイト「とっとり・楽しいガイド」の運用により、大会ホームページへのサイトバナーの添付を推進し、事前情報提供の強化により参加者のアフターコンベンションを促す。

#### ② 機関紙「Heart Field」の発行 (654千円)

機関紙を発行し、コンベンションの意義や地域振興への効果、財団の活動状況などを県民や関係業界等に広く情報発信する。

発 行 月： 6月、10月、2月

発行部数： 約2, 300部

配 布 先： 賛助会員、県内大学、県内団体事務局、行政機関、観光施設

- ③ 新聞等に広報宣伝記事を掲載し、コンベンションの意義や地域振興への効果、財団の活動状況などを県民や関係業界等に広く情報発信する。(220千円)

- ④ 文化・観光施設割引券の作成 (649千円)

コンベンション参加者のアフターコンベンションを誘発するため、県内主要観光施設、文化施設の優待割引券を作成し、参加者に配布する。また、WEB 版の周知により、配布数の増、一層の利便性向上を図る。

作成部数: 25, 000部

施設数: 48施設(東部16、中部9、西部23)

- ⑤ 大会歓迎ステッカー (425千円)

コンベンション参加者の歓迎と地元へのコンベンション開催の周知のため、歓迎ステッカー及びタクシーステッカーを作成し、開催期間に合わせ掲出する。

作成部数: 歓迎ステッカー 9件 3, 000部      タクシーステッカー 3件 900部

### 3 米子コンベンションセンター管理運営事業(指定管理者事業)

#### 【管理運営方針】

- 交流人口増大による地域のにぎわい創出の実現
  - ・大会・学会・展示会・イベント開催による地域経済の活性化
- 感動を共有する心豊かな文化・芸術の拠点づくり
  - ・様々な文化活動を専門スタッフが技術サポート
- 公平な利用機会の確保と安心・安全・満足の追求
  - ・安全で快適な利用環境と顧客満足度の高いサービスの提供
- 効率的で環境に配慮した会館運営と積極的な利用促進
  - ・効率的な運営による経費削減と積極的な営業活動を実施
- 公益法人としてのミッションと行政との連携
  - ・県内産業の振興・文化の向上に寄与する管理運営と設置者との連携強化

特定天井耐震対策、舞台吊物機構設備、舞台照明設備等の大規模改修を終え、第4期指定管理2年目を迎えるにあたり、組織改編による自主企画事業推進及び危機管理体制の強化、業務効率向上を軸とし、より高度な運営体制の確立を目指す。

|                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 年間稼働率目標(※主要施設平均): 75% | 年間利用料収入目標 : 10,000万円 |
| 年間利用者数目標 : 30万人       |                      |

※多目的ホール、小ホール、国際会議室、第1～第8会議室

#### (1) 利用者サービス

##### ① ワンストップサービスの充実

利用者の利便性向上を目的に、ワンストップサービスの充実を図る。

- ・看板作製……会議室・小ホール利用者向けに、看板作製の請負い
- ・有料ゴミ袋販売…処理費用の含まれたゴミ袋の販売
- ・ピアノ調律……調律師の手配、精算を備品代と併せて一括精算
- ・大会運営用品貸出…テーブルクロス等、館内備品以外の物品の貸出し
- ・国際会議室レイアウト楽得パック、多目的ホール楽得パック
- ・情報プラザレイアウトサービス
- ・割引・練習プランほか

##### ② 利便施設の充実

利便施設の充実を積極的に推進し、サービスの向上を図る。

- ・ビジネスコーナーを1階ロビーに設置…パソコン、コピー・FAX複合機のコーナー

##### ③ 顧客満足度、利用者の声を様々な方法で収集し、サービスの向上に活かす。

- (ア) 館内にアンケートBOXを設置し意見・要望の把握
- (イ) 利用後のチェックシート回収時(鍵返却時)聞き取りを継続実施
- (ウ) 利用者懇談会開催等による意見・要望の収集・把握

## (2) 利用促進

利用実績のある主催者へのフォロー強化と、新規の利用へと繋がる提案営業を通じて、積極的な利用促進を図りつつ、企画営業の活動内容の見直しと在り方を検討し新たな利用の獲得に努める。

- ① 利用者の潜在的なニーズを探りながら、より効果的な利用提案ができる企画営業力の強化
- ② 誘致部門と連携した、地域へ様々な波及効果をもたらす全国大会などの大型コンベンションの獲得
- ③ 利用者へのフォロー強化による継続利用促進
- ④ 蓄積されたデータベースを活用し、イベントの特性に合わせた効果的な利用提案
- ⑤ 利用者のニーズに合わせた新しい会議室の貸出形態(半面予約の制限一部変更)の運用

## (3) 広報関連

様々な媒体を使い、開催されるイベントや当センター情報を積極的に広報する。

- ① ホームページ上で Google ストリートビューと連動した施設照会やセンターPR動画を活用した効果的な情報発信
- ② イベントガイド情報紙(毎月発行)
- ③ 地元ケーブルテレビ文字放送「生活チャンネル」(毎日放送)
- ④ 緊急速報等も含めたSNS等による情報発信の検討

## (4) 地域連携

担当職員の配置により自主事業及び地域連携の強化を図り、地域のにぎわい創出に努める。

- ① 「食のみやこ鳥取県西部フェスタ連絡協議会」等の地元主体の実行委員会への参画
- ② 地域の様々な団体が参加できる自主事業等に参画し周辺施設と連携
- ③ 地域で企画された公益に資するイベントへのボランティアスタッフの派遣

## (5) 施設管理

施設・設備を常に良好な状態に維持することに努めるとともに、省エネの取り組みを継続する。

- ① 予防修繕の取り組み継続による施設・設備の延命
- ② 省エネ型照明器具等の導入、不要箇所の照明消灯、温度管理の徹底による重油使用量の削減等の取り組みを継続
- ③ 災害発生時に安全に来館者を避難誘導できるよう避難誘導訓練(年2回)を実施
- ④ 各職員に対するBCP及び各災害対応マニュアル等の教育を強化することにより、個々の災害時対応力向上を図る。また、BCPで必要になる未整備事項については、継続して県・市へ積極的に提言していく。

## (6) グリーンコンベンションの取り組み

グリーンコンベンションの取り組みを主催者・利用者に拡大するよう普及啓発を図る。

- ① グリーンコンベンションの啓発
- ② 鳥取県版環境管理システム(TEAS)に基づく環境改善

## (7) 自主企画事業（1,120千円）

当センターの設置目的・ミッションに沿って各種自主事業を企画し実施。地域住民へ当センターに親しんでもらえる機会を提供し、交流人口の拡大に取り組む。

### ① ビッグシップクリスマスコンサート（288千円）

クリスマスイルミネーションとサロンコンサートを融合し、目と耳で楽しめる空間を演出する。日頃センターを利用する機会の少ない地域住民の方により強くセンターをアピールし、親近感を感じて貰える契機とする。

内 容：センターのクリスマスイルミネーションを融合させた演出により、「クリスマス」という明確なテーマでより広く新しい顧客層の獲得を図る。またナイトクルージングコンサートで好評だったワンフード&ワンドリンクサービスも実施する。

実施時期：12月

入場者数：200名

入 場 料：1,000円

### ② ビッグシップ航海デー（532千円）

当地域で活動している様々なジャンルにわたるクリエイターや団体の交流の場として、多目的ホール（平土間仕様）を1日開放し、コンベンションセンターと地域が連携したにぎわい創出を図る。

内 容：（ア）出展ブース

地域で活動中の作家や団体を募り様々な手作り作品の展示販売を行い、来場者が体験できるワークショップなども実施する。

（イ）飲食ブース

当財団の賛助会員を中心に出店者を募りご当地グルメ等を提供

（ウ）ビッグシップ探検ツアー

実施時期：11月

参加者数：3,000名

入 場 料：無料

### ③ ビッグシップ探検ツアー ※ビッグシップ航海デー同日開催

施設をより身近に感じていただくために、普段立ち入ることの出来ないエリアも広く一般公開し、米子コンベンションセンターのファン拡大を図る。

内 容：ビッグシップ航海デーと同時開催し、舞台機構や音響・照明等の見学及び操作体験をスタンプラリー形式で実施することにより、より多くの参加機会の創出と、個々のイベントの相乗効果を図る。

実施時期：11月

参加者数：100名程度

対 象：ビッグシップ航海デー来場者



#### ④ ビッグシップハロウィンパーティー（300千円）

連絡協議会に参画している「農と食のフェスタinせいぶ」において、国際会議室を会場としてフェイスペイントやファッションショーなどを含めたハロウィンイベントを実施。地域と一体となりフェスタを盛り上げて連携強化を図るとともに、交流拠点としてのコンベンションセンターを地域に強くアピールする。

内 容： フェイスペイント、仮装、ワークショップ（小物作成）、トリックアート等

実施時期： 10月

参加者数： 200名程度

対 象： 農と食のフェスタinせいぶ来場者

## 4 地域振興事業基金事業

会館運営努力で生み出した地域振興基金を活用し、地域経済の発展、文化の振興、利用促進を念頭に置きながら、将来に渡って地域振興・文化振興をさらに進めることを目的に事業実施及び新事業計画の企画を行う。

### （1）地域のコンベンション振興に資する事業（2,993千円）

#### ① 利用者団体支援事業

##### （ア）助成金交付（1,150千円）

当センターを利用する展示会及び県民を対象とした催事のうち、規定の条件を満たす利用団体に対し施設利用料の一部を助成するなどの開催支援を行い、地域経済の振興に寄与するとともに、多目的ホール及び国際会議室に重点を置いた利用促進に繋げる。

対 象： 多目的ホール、国際会議室

内 容： ・ 長期利用者助成金（連続して3日以上7日以内）

・ 新規利用者助成金（新規又は過去3年間以上利用が無い場合）

実施時期： 通年

##### （イ）企画共催支援（1,843千円）

地域の企業・団体等が実施する事業について当財団が共催者として関与し、相互協力と連携強化を図り事業推進することによって、地域の賑わい創出と交流人口拡大を通じて地域の活性化に寄与する。

対 象： ・ 鑑賞型事業

（県内のマスコミが幅広い文化事業に関して県民に鑑賞の機会を提供するもの）

・ 地域創造型事業

（県内の団体等が自ら参加・実施し、地域の賑わい創出に寄与するもの）

内 容： ・ 鑑賞型事業      施設利用料1/2を共催負担、優先予約受付、広報協力

・ 地域創造型事業      施設利用料全額を共催負担、優先予約受付、広報協力等

実施時期： 通年

## (2) 地域の文化活性化に資する事業（1,108千円）

### ① 演劇ワークショップ（20千円）

鳥取県西部の高校演劇部を対象に舞台・照明・音響技術の基本から実践までを職員が説明し、将来の文化活動者の育成を図る。

対 象： 県西部地区の高校演劇部（西部地区高等学校演劇祭に参加する学校8～9校）

内 容： 主催は県西部地区の高校演劇部（西部地区高等学校演劇祭に参加する学校）

所外より講師を招へいし、大道具制作を体験しながら舞台技術を学べる機会を提供する。

実施時期： 5月

### ② アート交流ひろば（458千円）

従来の出展者公募型から年度ごとのテーマを設定した開催形式に変更し、より密度の濃い作品展示の場として出展者とともに広報活動も強化することによって、より多くの来場者獲得を図る

内 容： あいサポート・アートセンター等との連携により、障がいのある人のすぐれた芸術・文化作品を展示し、その創作活動を県西部地域に広く紹介する。

実施時期： 7月

場 所： 情報プラザ

入 場 料： 無料

### ③ クリスマスイルミネーション・点灯式（630千円）

鳥取県電業協会との連携協力によりクリスマスイルミネーションを設置し、隣接する米子市文化ホールと一体となった地域の賑わいを創出する。

内 容： 点灯式には近隣の幼稚園児・保育園児等を招待する。

実施時期： 12月～1月

場 所： 屋外エントランス